

生涯学習 がんばっています!

講演会に参加し、家庭教育の大切さを学んだ女性。講座に参加して、長距離走が楽しみに変わった女の子。

今月は生涯学習講座の「家庭教育講演会」と「長距離走教室」に参加された方の声を紹介します。

「家庭教育講演会」に参加して

夏目淳子さん



二月二十八日、豊山町社会教育センターにて、「家庭教育講演会」が行われ、豊山小学校PTAの依頼もあつて参加しました。

愛知学泉大学教授の上田裕先生より、「わからないことから始める家庭教育」という演題でお話を聞きました。私にも、小学二年生と幼稚園児の二人の娘がいるので、興味深くお聞きしました。

最初に、「あるツイッターの態度」と「スキー場渋滞問題」の二例について、参加者との意見交換をしました。「あたりまえ」の行動を疑う視点や全体を見る視点を持つことが大切だと痛感しました。次に、子どもとのコミュニケーションは、言葉だけではなく、身振り・表情なども交えて行うと、よりわかり合えるコミュニケーションになると聞き、わが娘への接し方の参考になりました。最後は、「子どもにはどんな才能があるのだろうか」というお話でした。「才能」とは、子どもがやりたいことを見つけて、やり続けることであり、自信を持たせるには、親や家族などの支援が必要だと知りました。

家庭教育の大切さや子どもへの接し方を学ぶことができた講演会でした。

「長距離走教室」に参加して

太田礼美さん



私の学校には、毎年マラソン大会があります。短距離走は好きですが、長距離走は、途中で疲れてしまいなかなか速く走れなかったため、あまり好きではありませんでした。そこで長距離走教室に参加して、色々な事を教えてもらおうと思い、通い始めました。

初めて長距離走教室へ行った時、みんなとても速かったので、「私も速く走れるようになるのかなあ」と、とても心配でした。でも、友達と一緒に練習したり、リレーをしているうちにだんだん楽しくなってきました。今までは、走る前にとっても緊張していましたが、最近ではあまり緊張せず、少しずつ速く走れるようになってきました。そのおかげで、校内マラソン大会やとよまエアポルトビューマラソンでは、去年よりも少し順位が上がりました。今では、長距離走教室へ行くのがとても楽しみです。

これからも長距離走教室に参加し、たくさん練習をして、もっともっと速く走れるようにしていきたいと思っています。そして、来年の校内マラソン大会やとよまエアポルトビューマラソン大会では、少しでも順位を上げられるようになりたいと思っています。

キッズレポート

スポ少バレーボール最高

ハレーボールスポーツ少年団 丹羽陽菜乃さん

私は、四年生の時からスポーツ少年団のバレーボールに入っています。私が入団した理由は、テレビでバレーボールがやってのを見た時「カッコイイな」と「私もやってみたい」と強く思ったからです。

練習内容は、ランニングや体を動かしてからのパス練習をして、最後に練習試合をします。私は最初、バレーボールを全くやったことがなく不安でしたが、チーフや友達がやさしく教えてくれたので、とても楽しくできました。また、明るい子達ばかりで、私が試合で失敗しても、「ドンマイ」などやさしく声をかけてくれるので、「もっとがんばろう」と勇気が出ます。

夏には二泊三日のキャンプがあります。私は六年生で、一人しかいませんが他種目のスポーツ少年団の子達も来て、同じ学校の同級生にも会えるし、ちがう学校の友達も増えるので、全然さみしくありません。キャンプファイアーや川で遊んだりもできるので、すごくじゅう実した三日間を過ごすことができます。

友達も増えるし、いろいろな経験ができるそんなすてきなバレーボールスポーツ少年団に、ぜひ入ってみたい。そして、私たちと一緒に楽しくバレーボールを



このページについての問合せ
生涯学習課生涯学習係 28・0396